

令和4年度

学校だより

令和5年 1月31日



さつきが丘

2月号 第356号

節分によせて

副校長 安村 宏晃

月日の経つのは早いもので、令和5年も1か月が過ぎました。毎年のことではありますが、「行く1月、逃げる2月、去る3月」と言われるように、年が明けてから卒業・修了までの3か月は、登校日数の少なさもあり、「あっ」と言う間に過ぎていくように感じます。

1月には、さつきが丘小学校「郷土史の会」で主催されたどんど焼きに参加してきました。無病息災を祈念しながらお正月飾りなどを燃やし、お団子を焼いて食する伝統行事に、地域の多くの方が参加され、たくさんの笑顔を見ました。小雨降る中でしたが子どもたちと一緒に和気藹々とお団子を焼く様子がとっても素敵に感じました。

また、学校の行事として、「伝承遊びの会」を行いました。伝承遊びを教えていただく地域の先生として20数名の方においでいただきました。3年生がクラスごとに時間を決めて体育館に行きベーゴマまわしやお手玉などいくつかの遊びの遊び方を教えていただきました。見たり聞いたりしたことがあるだけの遊びもあったかもしれませんが。本物にふれることができて児童にとっても貴重な体験となりました。これをきっかけにいろいろな伝承遊びをお友達と一緒に楽しめるといいなと思います。地域の先生方には大変感謝しています。ありがとうございました。

さて、2月の伝統的な行事と言えば節分が挙げられます。2月の節分は春を迎える1年の始まりを示しているため、今でも様々な行事や風習が残っています。豆まきには、新しい1年の始まり

を告げる「春の節分」の風習の一つとして、それまでの良くなかったことを振り払い、次の1年に良いことをたくさん呼び込めるようにといった願いが込められています。

子どもたちも伝統にふれるとともに季節の変わり目を感じてほしいと思います。「鬼は外」の掛け声とともに自分の中にあるかもしれない悪い考え方をしっかり追い払い、「福は内」でより良い考え方ができるように成長することを願うとともに、今までのことを振り返ってくれればと願っています。そして正しいと分かっていることを素直に行える人に成長してほしいと思います。

各学年のお便りでも伝えているように職員一同これからの2か月は、学習を進めながら児童一人ひとりが今年の成長を振り返り、次年度への進学・進級への心構えをもてるようにしていきます。ご家庭でもお子様の成長が感じられた場面や進学・進級のことなどお話しただければ幸いです。

